

令和8年度全国学力・学習状況調査

－相模原市の結果概要－

令和8年度全国学力・学習状況調査の本市の結果概要をお知らせします。本調査においては、小学校6年生・義務教育学校6年生及び中学校3年生・義務教育学校9年生に対し、教科調査、児童生徒質問調査が行われたほか、学校に対し、学校質問調査が行われました。

1 調査の対象と教科調査の実施教科 ※CBT：コンピュータを用いて行われる学力調査

- 小学校6年生及び義務教育学校6年生 … 国語、算数
- 中学校3年生及び義務教育学校9年生 … 国語、数学、英語（CBT）

※中学校英語は「聞くこと」「読むこと」「書くこと」3技能と「話すこと」の調査を別日で実施

2 教科調査の平均正答数、平均正答率、平均 IRT スコア

小学校・ 義務教育学校 (前期課程)	国語		算数	
	13 問		16 問	
	正答数(問)	正答率(%)	正答数(問)	正答率(%)
相模原市	8.0	62	9.0	56
神奈川県	7.9	61	9.2	58
全 国	7.9	60.9	9.0	56.4
相模原市－全国	+0.1	+1.1	±0	-0.4

中学校・ 義務教育学校 (後期課程)	国語		数学		英語(4技能)	英語(3技能)
	15 問		16 問		IRT スコア	
	正答数(問)	正答率(%)	正答数(問)	正答率(%)		
相模原市	9.7	65	9.3	58	－	517
神奈川県	9.7	65	9.5	59	－	525
全 国	9.6	63.9	9.1	57.0	499	499
相模原市－全国	+0.1	+1.1	+0.2	+1.0	－	+18

※ 本市及び神奈川県の平均正答率は整数値で示しています。

※ 中学校英語（4技能）の全国値は、7月16日時点で公開されている、国・公・私立学校を含めた数値です。

※ 中学校英語「話すこと」を含めた都道府県・指定都市別の解答状況は、秋頃を目途に返却される予定です。

※ 中学校英語調査は、タブレット PC を使って行われ、学校ごとに異なる問題を解いています。そのため、調査結果は平均 IRT スコアをもとに示しています。

IRT (Item Response Theory) とは、児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論です。詳細は、文部科学省 Web ページをご覧ください。

[文部科学省 Web ページ]

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm

3 今後の取組について

今後、調査結果をさらに詳細に分析するとともに、教員に対して研修を実施するなど、指導力の向上に努めます。なお、本調査における教科調査と児童生徒質問調査の結果は、市ホームページで公表します。

学力の向上に関する取組

教育委員会の取組	学校の取組
・学習調査の実施及び分析資料の学校への提供 ・授業づくりに関する研修の実施 ・学習支援員等の配置 ・多層指導モデルM I Mの全校導入 ・基本的生活習慣の確立や家庭学習習慣の定着に向けた資料の学校への提供	・学習調査の結果の分析と、それを生かした授業改善 ・研修の内容を生かした授業実践 ・学習支援員等と連携した指導、支援 ・多層指導モデルM I Mに基づく指導・支援の実施 ・基本的生活習慣の確立や家庭学習習慣の定着に向けた指導、支援

本調査の詳細資料は国立教育政策研究所Webページをご覧ください。

<https://www.nier.go.jp/26chousakekkahoukoku/index.html>

お問合せ先
相模原市教育委員会
学校教育課
042-769-8284